

年収420万円の
家計に例えると
(市決算の約1/5000)

亀山家(市)

の家計簿



平成27年度の一般会計決算を約5,000分の1にして、家計簿に例えてみました。市の予算はさまざまな種類の歳入と支出があり、一般の家庭とは少し違った内容となっていますが、亀山家の年間の家計簿をつくってみると…



大事に使ってね。

給料(基本給)が減ったから、仕送りはとても感謝しています。



市税

皆さんから納めていただいた税金。市税、固定資産税、たばこ税など

地方交付税

国税のうちの取り分として交付されたお金

譲与税・交付金

国税・県税のうちの市の取り分として譲与・交付されたお金

諸収入

延滞金、預金利子、貸付金元利収入、雑入など

使用料・手数料

市営施設の使用料や住民票の写しの交付手数料など

国庫支出金

国と市が共同で行う事業のために国が市に支出したお金

県支出

県が市に対して支出したお金

市債

市が国や銀行から借りたお金

繰入金

市の基金から引き出したお金

繰越金

前年度に残ったお金

収入

26年度からの増減

現金収入合計	357万円 (+3万円)
① 給料(基本給)	217万円 (-8万円)
② 給料(諸手当)	62万円 (+10万円)
③ パート収入	14万円 (0万円)
④ 祖父母からの仕送り	64万円 (+1万円)
⑤ ローン(借入金)	33万円 (-6万円)
⑥ 貯金取り崩し	20万円 (+5万円)
⑦ 繰越金	10万円 (-3万円)



給料は、諸手当が毎年変わるから安定しないのね

収入合計 420万円 (0万円)

貯金残高 171万円 (+9万円)

支出

26年度からの増減

生活費合計	275万円 (+12万円)
① 食費	65万円 (-2万円)
② 医療費	67万円 (+2万円)
③ 光熱水費など雑費	91万円 (+8万円)
④ 車などの修理代	11万円 (+2万円)
⑤ 教育費	41万円 (+2万円)
⑥ 子どもへの仕送り	33万円 (-6万円)
⑦ ローン返済	44万円 (-4万円)
⑧ 家や庭の建築・改修	39万円 (-10万円)
⑨ 貸付など	8万円 (+5万円)
⑩ 貯金など	1万円 (0万円)

支出合計 400万円 (-2万円)

余り 20万円 (+2万円)

ローン残高 336万円 (-10万円)

人件費

市職員の給料や議員報酬など

扶助費

生活保護、障がい者支援、医療費助成など福祉に使ったお金

物件費

光熱水費、消耗品費、業務委託料など

補助費等

報償費、負担金、補助金など

維持補修費

道路、公共施設を維持するために必要なお金

教育費には人件費や物件費、普通建設事業費などが含まれています。

繰出金

下水道事業や介護保険などの他の会計への繰越金

公債費

市債の元金・利子や一時入金の子

普通建設事業費

道路・学校・庁舎など、公共・公用施設の建築・改修に使ったお金

災害復旧事業費

大雨、暴風などの災害により被災した設備を復旧するためのお金

貸付金

福祉増進や地域振興のための貸したお金

積立金

将来の財源変動に備えて積み立てたお金

ローンの返済もあって、子どもの仕送りも必要だから大変なんだ。

医療費だけでなく光熱水費や車などの修理代も増えたから、お金の使い道を慎重に考えないとだめだね。



平成27年度の家計は

平成27年度の家計は、生活費の節約に努めましたが、給料や祖崩して家計をやりくりすることとなりました。

しかし、家計に占める割合が大きい医療費や子どもへの仕送り築や改修に伴う支出が今後も増える見込みです。また、ローンのています。

諸手当の増加については、基本給との調整によるものや臨時的なものであることから、今後も厳しい状況が続くなか、節電や節水に努めるのはもちろん、その他の出費についても無駄がないかしを最小限にとどめるなど、家計の安定に向けてより一層の努力

父母からの仕送りが思ったよりも増えなかったため、貯金を取り

などは依然として高額であり、家や庭についても老朽化のため改残高は少しずつ減少させているものの、返済は出費の重荷になっ

なものであることから、今後も厳しい状況が続くなか、節電や節水に努めるのはもちろん、その他の出費についても無駄がないかしを最小限にとどめるなど、家計の安定に向けてより一層の努力